

交通安全は
家庭から

県交母だより

第42号

福島県交通安全
母の会連絡協議会
発行責任者 志賀智子
(題字
初代名誉会長 山崎信子)

第54回 通常総会



祝辞 (鈴木副知事)



受賞の様子



齋藤名誉会長挨拶

令和七年五月十九日(月)福島市杉妻会館において、第五十四回福島県交通安全母の会連絡協議会の通常総会が開催されました。

県内の各市町村母の会より約百十名の多くの会員が出席しました。

齋藤名誉会長と志賀会長より挨拶があり、長年にわたって母の会活動を進めてこられた「優良市町村交通安全母の会」「優良交通安全母の会」「優良交通安全母の会」八名に表彰状を、退任役員三名に感謝状を志賀会長より贈呈されました。

続いて、本協議会に多大なる御協力を頂いております一般財団法人福島県自動車会議所様、小林豊子きもの学院東北本部福島講師会様へ感謝状が贈呈されました。受賞者を代表して郡山市桜交通安全母の会会長の菅家寿和様が謝辞を述べられました。

また、鈴木正晃福島県副知事様(内堀雅雄福島県知事代理)を始め、多数の御来賓の方々に御臨席を賜り、県内での交通事故等の報告と県交母活動への感謝と敬意を込めた祝辞を頂きました。

議事では、令和六年度の事業報告・収支決算が承認され、令和七年度の母親大会が九月に開催予定等の事業計画案及び予算案の審議があり、すべての議案が承認されました。「交通安全は家庭から」のスローガンの下、悲惨な事故が一件でも少なくなるよう取り組みを再確認して閉会しました。

第54回通常総会受賞者

○福島県交通安全母の会連絡協議会表彰

【優良市町村交通安全母の会】

郡山市桜交通安全母の会 (郡山市)

【優良交通安全母の会】

和田 真弓 (福島市) 村田みきこ (西郷村) 三木 繁子 (国見町) 星 希和 (南会津町)
畑 智子 (川俣町) 佐藤 早苗 (西会津町) 戸田 真弓 (白河市) 楠 裕香 (いわき市)

○福島県交通安全母の会連絡協議会退任役員感謝状

(故) 阿部ミツル (二本松市) 宇月 静子 (猪苗代町) 林 仁子 (南相馬市)

○福島県交通安全母の会連絡協議会感謝状

一般財団法人福島県自動車会議所 小林豊子きもの学院東北本部 福島講師会 交通労連東北地方総支部
(故) 阿部磐雄 (阿部理事御夫君)

母の会のスローガンは「交通安全は家庭から」です。ご家族で「無理な横断をしない」「暗い時間帯には反射材を使う」「早めのライト点灯を心がける」など身近なことから話し合うことが大切です。家庭から始まる小さな心がけが、地域全体の安全を守る大きな力となります。

私たち母の会は、地域・学校・行政と連携しながら、世代をこえて交通安全の輪を広げてまいります。一人ひとりの心がけが、かけがえのない命を守る力になります。どうぞこれからも、ご家庭から安全への思いやりを広げてくださいますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまの毎日が、安心と笑顔に包まれたものでありますように、心よりお祈り申し上げます。

福島県交通安全
母の会連絡協議会
会長 志賀 智子

あいさつ

市町村からこんにちは ～市町村交母の取組～

各市町村交通安全母の会では毎年10月に「県下一斉交通安全街頭啓発活動」を実施しています。

令和7年度も多く各市町村交通安全母の会で横断幕の掲示や啓発品の配布等により、ドライバーや歩行者に交通事故防止をアピールしました。

今後も交通安全母の会の基本理念である「交通安全は家庭から」、「命大切に」をスローガンに、悲惨な交通事故を1件でもなくすため、母親の立場で地域に根ざした活動を継続していきましょう。

【福島市交通安全母の会連絡協議会】
R7.10.15
福島市北警察署前【伊達市交通安全母の会】
R7.10.14
ローソン伊達月館町付近交差点【川俣町交通安全母の会】
R7.10.15
国道349号ミニストップ大清水店前【須賀川市交通安全母の会】
R7.10.22
国道4号沿いヨークベニマル須賀川西店前【鏡石町交通安全母の会】
R7.10.15
鏡石町役場前交差点【磐梯町交通安全母の会】
R7.10.18
県道7号沿い道の駅ばんだい【猪苗代町交通安全母の会】
R7.10.15
ヨークベニマル猪苗代店前【南相馬市交通安全母の会連合会】
R7.10.15
鹿島駅前

役員名簿 (常任理事以上)

令和7年9月5日

名誉会長	齋藤 和子 (いわき市)
会長	志賀 智子 (いわき市)
副会長	柏倉かつゑ (福島市) 渡辺さゆり (郡山市)
	徳田 芳江 (白河市)
常任理事	菅野 吉 (伊達市) 紺野みゑ子 (二本松市)
	石橋 順子 (本宮市) 添田喜美代 (鏡石町)
	高畑 京子 (会津若松市) 小林 弘子 (喜多方市)
	今野 愛 (南相馬市) 坪井 樹里 (いわき市)

☆福島県知事表彰

高畑 京子 さん (会津若松市)



受賞コメント

令和7年度の交通安全功労者として、県知事表彰を頂き、誠に光栄に存じます。これもひとえに齋藤名誉会長、志賀会長を始め、役員の方々の御指導・御支援と共に支えてくださった地域の皆様のおかげかと感謝しております。

今後も今回の栄誉を励みとしてより一層交通安全活動に尽力させていただきます。



受賞時



総会時花束贈呈

編集後記

福島県交母の会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

令和八年を迎え、第四十二号「県交母だより」をお届けいたします。会員の皆様には、各種事業等にご協力いただき誠にありがとうございます。

交通安全母の会の基本理念である「交通安全は家庭から」のスローガンのもと母親の力を結集し「命大切に」を呼びかけ交通事故防止を一人でも多くの方に呼びかけをしましょう。会長を中心に役員一丸となって県交母を盛り上げ活動していきます。

事故のない社会を皆様と共ににつくり上げ、引き続き協力をお願い申し上げます。最後に皆様のご健康をお祈りいたします。編集後記といたします。

子どもと高齢者の交通安全リーダー研修会



会場の様子



ナスパの活動を拝聴



運転のメカニズムを学ぶ



意見交換の様子

令和七年六月二十五日(水)、郡山市ユラックス熱海において「子どもと高齢者の交通安全リーダー研修会」を開催し、県内各地から約百名の会員が参加しました。

開会の言葉に続き、志賀会長より、「日頃より会員の皆様に交通事故を一件でも減少するように各地で活動していること」に対する感謝の気持ちが述べられました。

続いて、独立行政法人自動車事故対策機構(NAHV A) 仙台主管支所次長の伴野晋一様による「高齢者の交通事故防止のために」についての講義を受けました。講師の先生からは、交通事故の現状や統計データをもとに、事故の多くが「ちょっとした気の緩み」や「思い込み」から起こっていることを教えていただきました。特に高齢者が関係する事故の割合が高いというお話に改めて地域ぐるみでの安全啓発の重要性を感じました。

また、事故被害者やその家族に対する支援制度、リハビリテーションセンターの取り組みについても紹介があり、事故後の生活再建の難しさ、それを支える社会の仕組みの大切さを学びました。私たち母親一人ひとりが、日常の中で「安全手本」となる行動こそが、子どもたちの命を守る第一歩であるという言葉が心に残りしました。

今後は、家庭や地域での交通安全指導に、今回の学びを活かし、「思いやり運転」「ゆとりある行動」を意識して活動していきたいと思えます。講義を通して、交通安全への意識を新たにし、母の会としての役割と責任を改めて感じた貴重な研修会でした。

役員研修会



研修会の様子

令和七年九月四日(木)、伊達市ふるさと会館MDホールにて、各市町村母の会の役員及び事務職員を対象に交通安全に対する意識の高揚と資質の向上を図るため「役員研修会」が開催されました。

当日は翌日に開催される第三十四回交通安全母親福島大会の準備、設営、役割の確認等を終えてから、引き続き役員研修会が行われました。

役員研修会では、母の会の活動について各市町村から様々な意見が飛び交いました。

例えば、母の会の会員が年々減少し、人数確保が難しい、全体的に過疎化が進み、小団体で母の会を運営しているなど、厳しい意見が出ました。一方で女性だけで活動するのは難しく、男性が参加している地域があるとの意見もありました。

今の時代、男女関係なく社会に関心があるので、他の地域でも参考になればと思います。

母の会を知ってもらう上で、年一回の交通遺児募金活動を行っていたり、毎日の立哨活動や地域と合同で子供の見守りを行ったり、幼稚園児、新入学児童に手作りのマスコットを配布したりと、皆様から大変貴重な意見を頂きました。

短時間ではありますが、改めて母の会活動の重要性を感じる研修会となりました。

第34回交通安全母親福島県大会

令和七年九月五日(金) 伊達市ふるさと会館MDホールにおいて、第三十四回交通安全母親福島県大会が開催されました。

来賓十四名の御臨席を賜り、交通安全犠牲者へ対し黙祷を捧げ、山崎信子作詞作曲の県交母の歌を斉唱しました。

志賀会長の挨拶で始まり「山崎信子賞」の表彰が行われました。今年度は、交通安全活動に特に顕著な功績のあった、須賀川市の齋藤知子さんと西会津町の渡部友子さんが栄えある賞を頂きました。続いて「山崎信子さんの功績顕彰委員会」に対して、御寄附を頂いた猪苗代町の宇月静子さんに感謝状が贈られました。

来賓の中から福島県副知事、福島県警察本部交通部長、福島県議会議員、福島県教育庁健康教育課長各氏から御祝辞を頂き、初めての開催地となった伊達市の須田博行市長から歓迎の言葉を頂きました。

郡山市で飲酒運転による悲惨な事故があったので、講演は飲酒運転についてお聞きすることになりました。講師は、福島県警察本部交通部企画課管理官の松本靖則氏、演題は「飲酒運転の先にあるもの」で講演を頂きました。

松本氏は、交番勤務から現在までをユーモアを交えてお話しになりましたが、飲酒運転の事例はプロでありながら涙を流して話されました。資料によると、福島県の飲酒事故率は全国から見てもワースト三位、良くても十位です。飲酒運転の恐ろしさとその代償などを知り尽くした松本氏だからこそ涙が出てくるのだと思いました。

これから母の会も、飲酒運転は許さないことを掲げて活動をしていきたいと思っています。

最後は、大会宣言(案)を全員で読み上げて、満場一致の拍手で承認され大会を終えました。



会場の様子



祝辞(鈴木副知事)



志賀会長挨拶



大会宣言の様子



松本管理官講演の様子



松本管理官講演の意見交換

「山崎信子賞」表彰



受賞の様子



代表謝辞



感謝状受賞

第三十四回交通安全母親福島県大会において、第七回山崎信子賞の表彰式が行われました。山崎信子賞は、約半世紀にわたる他の模範となって交通安全活動に尽力してきた山崎信子氏の功績を称え、末永く後世に引き継ぐため、交通安全活動に特に顕著な功績があった個人や母の会を表彰し、交通安全運動をより一層推進していくことを目的として、平成二十九年五月に創設されました。

栄えある受賞者は、須賀川市の齋藤知子氏、西会津町の渡部友子氏です。

齋藤知子氏 経歴

- 平成十六年～現在 須賀川市交通安全母の会会長
- 平成十六年 福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰
- 平成二十年～二十八年 福島県交通安全母の会連絡協議会理事 全日本交通安全協会会長表彰(交通栄誉賞「緑十字銅賞」)
- 平成二十二年 福島県交通安全対策協議会長表彰
- 平成二十七年 東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰

渡部友子氏 経歴

- 平成二十六年～令和四年 西会津町交通安全母の会会長
- 令和四年～現在 西会津町交通安全母の会顧問
- 平成二十六年～令和二年 福島県交通安全母の会連絡協議会理事
- 令和二年～三年 福島県交通安全母の会連絡協議会理事
- 令和五年 福島県交通安全母の会連絡協議会会長表彰

受賞された皆様は、長年地域のリーダーとして御活躍され、更なる発展に御尽力されております。

受賞、誠にありがとうございます。